

## 1. 授業の概要(ねらい)

- 現代の学校教育現場の状況や急速に変動する社会状況等を踏まえ、人格(性格)の形成、心の健康の保持増進などについて学修する。
- 児童期から思春期にかけての心の発達、青年期特有の不安定な状況から来る課題等や、情緒の発達と人間形成の筋道について学修する。併せて、精神障害、発達障害、不適応などについても学修する。

## 2. 授業の到達目標

- \*精神保健の概念、精神発達の段階等が説明できる。
- \*精神保健上の諸問題について提示し、意見が述べられる。
- \*精神保健活動や精神保健相談の意義について説明できる。
- \*精神保健とその関係法規について説明できる。
- \*発達障害の基本的内容について説明できる。
- \*精神保健上の諸課題について自分の考えを述べることができる。

## 3. 成績評価の方法および基準

- 授業実施回数の2/3以上の出席を必要とする。
- \*学習状況、コメントシート 30%
- \*確認テスト、小論文・レポート等 40%
- \*試験または課題レポート等 30%

## 4. 教科書・参考文献

### 教科書

- 資料及びプリント等を配布し進めていく。

### 参考文献

- 『新版 精神保健』 医学出版社
- 『精神保健マニュアル』 南山堂

## 5. 準備学修の内容

- 次回の授業内容を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。
- 授業内で配布したプリントや資料はファイルに綴じ、授業の復習に努めること。

## 6. その他履修上の注意事項

- 受講の基本的事項(ルールやマナー)を厳守。具体的内容についてはガイダンスにて示す。
- 学びあい、高めあいを意識し、授業内での発問への発言やグループワークには積極的に参加すること。
- 主体的な学修を進め、課題は必ず提出すること。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス、講義内容の概要、講義の進め方、評価方法等
- 【第2回】 精神保健の概念について学ぶ 定義、内容等
- 【第3回】 精神発達の段階について学ぶ(性格・人格形成の段階等)
- 【第4回】 精神保健上の問題行動について学ぶ(児童・生徒の具体的な行動内容等)
- 【第5回】 学校の現状と課題について学ぶ 具体的事例①(小・中学校、いじめ・不登校等)
- 【第6回】 学校の現状と課題について学ぶ 具体的事例②(中学・高等学校、自殺等)
- 【第7回】 精神保健活動について学ぶ(学校における精神保健活動等)
- 【第8回】 家庭における精神保健活動について学ぶ(現代社会における家庭の在り方等)
- 【第9回】 関連法規、関係機関について学ぶ(精神保健に関する法規、制度等)
- 【第10回】 精神保健相談について学ぶ(基本的考え、具体的方法等)
- 【第11回】 発達障害について学ぶ(自閉症スペクトラム他)
- 【第12回】 特別支援教育について学ぶ(インクルーシブ教育システム他)
- 【第13回】 精神障害等について学ぶ(精神障害の定義他)
- 【第14回】 これからの精神保健について学ぶ(依存症、薬物乱用防止教育他)
- 【第15回】 授業のまとめと復習